

高島市更生保護女性会

更女



更生保護女性会の主な活動

- ◇犯罪、非行予防活動の実施
- ◇子育て支援・青少年健全育成活動
- ◇社会貢献活動に対する協力
- ◇更生保護施設・矯正施設への協力

《協力：高島市社会福祉課》

更生保護女性会綱領

- 一、私たちは 一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会をめざします。
- 一、私たちは 更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と提携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります。
- 一、私たちは 知識を求め自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動します。

『ハチドリのひとしずく』

高島保護区保護司会
会長

伊藤 隆樹

更生保護女性会の皆様には平素よりのご尽力ありがとうございました。

さて昨今社会情勢の変化の激しい中「生きづらさ」を抱えている人、抱えざるを得ない人たちが少なからずおられます。制度上いろいろな援助・支援がありますが、中には適切な援助や支援を受けられず、「助けて」と声にできない人もあるかもしれません。

そういった状況が罪を犯す元になる可能性は少なくありません。かといって私たちは、それらをすべての確に除くことは不可能です。

こんなお話を存じですか。

森が燃えていました
森の生き物たちは われさきにと逃げていきました

でもクリキンディという名のハチドリだけは 行ったり来たり 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは

火の上に落としていきます

動物たちはそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」と笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」(※出典 辻信一監修 光文社刊)

「ハチドリのひとしずく」 光文社刊

森の大火事ではないですが、今の世の中の状況で「私の身の回りで私(私たち)ができること」は、ほっとけない精神で声かけ・あいさつ・温かい眼差しで地域の人間関係作り。更生保護女性会の皆さん、今こそお節介りさんの出番だと思います。

『地域と歩む』

高島市更生保護女性会
会長

大鉢 佳子

春の訪れを感じる季節となつてまいりました。会員の皆様におかれましては、お変わりなく健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

近年、スマートフォンやSNSの普及により、若者がたやすく犯罪に手を染めてしまうニュースが後を絶たず、その現実には接する度に心痛むばかりです。

人とのつながりが希薄になってきた昨今、未来を担う子どもたち、孤独や生きづらさを抱えた人達に「自分一人ではない」という事に気づいてもらうため、新たなコミュニケーションの創造

は急務と考えます。

現在、更生保護女性会では、会員間はもちろん関係機関との情報交換、保護司さんや行政機関とのミニ集会、子ども食堂子育て支援、施設訪問等、地道な活動を積み重ね、いつしか大きな輪となり広まる事を願ってやみません。

今期の活動としては、第一ブロック研究協議会が高島地区の当番開催で、大津地区からも多数の会員様にご参加いただき、有意義な研究会となりました。

視察研修では、「湘南学園」を訪問し、園長様より貴重なお話を伺いました。また、石山寺と「紫式部展」の訪問では見聞を広め有意義な一日を過ごしました。

最後になりましたが、皆様のおかげをもちまして、二年間を勤めることができました事、お礼申し上げます。



視察研修 湘南学園の視察から学んだこと

(令和6年12月3日)

設立から110余年の歴史のある湘南学園は、児童養護施設・保育の家しょうなん・障害福祉サービス事業所れもん会社などを運営しております。

児童養護施設に入所する80%は親から虐待を受けた子どもたちです。虐待を受けたのは「僕が悪いから・・・」と自分を責める子どもも多いと聞きました。



いずれは施設を出て地域に帰る子どもたちにとって、安心して安全な暮らしの場を作るのも、私たちの役割ではないかと感じました。

また、れもん会社での障害者の時給は低く、月額1万円程度と聞き、誰もが暮らしやすい街になることを願いながら、そこで作られたクッキーや手作り小物をお土産に、「光る君へびわ湖大津大河ドラマ館」を見学し、紅葉を見ながら帰路につきました。

マキノ 山本 一代

新旭支部

地域とのふれあい交流

十一月新旭ふくしまつりが開催され、更女も他団体の皆さんと共に新調のピンクのベストを着用してピザやカレー作り等のお手伝いをしました。

ステージ発表や体験コーナーもあり和やかな雰囲気の流れの場となりました。



十二月学童保育所に訪問。更女の活動を紹介した後、ドッジボールと会員手作りのメッセージカードをプレゼントしました。お礼にと児童から多肉植物の可愛い鉢植えをいただきました。毎月第二土曜日の子ども食堂では、調理班と会場班に分かれお手伝いをしています。『ごちそうさま』と笑顔で帰る姿にいつも喜びを感じています。



安曇川支部

ハンドベルを購入した活動を通して

今年度安曇川支部でハンドベルを購入し、その活動の一部紹介します。

カフェでの日頃の練習を十一月二十三日に行われたボランティアまつりで発表する機会があり、地域の年



配の方、小中学生スタッフ総勢百人位の大合奏・大合唱で大盛り上り、皆さんと一つにつながれた楽しいひとときを味わいました。また、子どもコーナーでは、粘土や折紙でかわいい小物作りのサポートができ、仲良くふれ合うこともできて良かったです。



～誰一人取り残さない地域のちから～

各支部の更女活動

息の長い
絆を大切に

朽木支部

すぎやまの家

施設訪問を通して

会員研修として、障害者支援施設「杉山寮」を訪問させていただきました。家庭的な暮らしを信条として、取り組まれているお話を伺ったり、施設内を



ミニ集会



学童支援

見学させていただきました。ここでのお仕事は難しく、しかも大事な分野であるという認識を職員すべてが持っており、とても感動しました。

この研修を通して、微力ながら地域の活動の中で応援できる事について会員皆で話し合っていると思います。

高島支部

しるふじ保育園を訪問して

始めに、年中組の子どもたちから元気よく朝の挨拶があり、楽しい雰囲気の中でペープサートと大型絵本二冊の読み聞かせをしました。お歌のところでは大きな声で一緒に歌ってくれた



り、質問には元気に答えたりと楽しそうでした。また折紙では絵を見て自分で折る子ども、手を借りて折る子どもなどさまざまでしたが、出来上がった作品で遊ぶ姿はとても満足そうでした。



今津支部

絵本の読み聞かせ

今年の施設訪問は、愛隣こども園の年長クラスで絵本を読むことでした。担当者は、事前に絵本を持ち帰り、読む練習をしましたが、園児にわかりやすく、読み聞かせることの難しさを実感しました。

当日は、園児を四グループに、四人が四回読んで回りました。最初は興味を示さなかった園児も、四回目になると、こちらも慣れてきたせいか、聞き入るよ

うになってくれて、「これどういう意味？」などと話しかけてくるまでになりました。

ある会員さんは絵本の内容が良くわかるようにと、絵本に出てくる野菜を持参して下さ

り、良きふれあいが出来ました。最後に、読んだ絵本と、他の何冊かを園にプレゼントできました。毎月、子ども食堂のお手伝いもしています。



マキノ支部

地域活動（ミニ集会） 防災に対する構え

ミニ集会では駐在所の方より、ご実家の能登被害の様子や体験等を聞かせていただきました。

ぬくもり食堂（子ども食堂）の夏祭は、魚釣りや金魚、アヒルすくい、迷路クイズ体験など手伝いました。幼児さんには、アニマルカレーが準備され毎回好評で楽しみに待って下されます。



デイサービスを訪問し、アレインジメントフラワーと一緒に生け交流を図りました。

リーダー研修会

高島 小谷 幸子

五月二十八日大津で研修を受けてきました。

一、一般公開ケース研究会の進め方について

会員以外に保護司会・小中学校の先生・民生委員の方々にも参加していただき、さまざまな立場の人が話し合う事で世代間交流が生まれ、学びが深くなる。そして、何より当事者の立場になって考える事が大切だと学びました。

二、更女の居場所、出番はありますか？について

「声かけの大切さ、一歩踏み出す勇気をもって前進しましょう。また、自分の得意とする事や輝ける事を、更女活動で実践している」と話され、私たちも心がなごむような活動をめざしたいと思いました。

講評で、幅広い活動を中心に、手伝いでもいいので直接関係ないと思えるような活動でも、地域や他の団体に繋がっていき、この会を知っていただく事も重要と話されました。

最後に、私たちの活動を楽しく、気持ちを入れて行うことの大切さを学びました。そして、それが明るい地域社会の実現に繋がればと思います。

第一ブロック研究協議会開催

新旭 川妻 次美

九月二十四日、高島市新旭公民館二階大ホールで大津保護観察所所長宮山芳久氏、高島保護区保護司会会長伊藤隆樹氏、県更生保護女性連盟会副会長上路美智代氏を迎えて、大津市更生保護女性会会員と高島市更生保護女性会会員が集いました。



大津保

護観察所所長の講演「更生保護女性会の活動について」の中で、「青少年が非行に陥らないようにしよう。」という言葉に違和感を抱く人はおられないでしょうか、「ではどうするの?」とか「更生に理解を深めましょう。」となると、戸惑いを感じてしまいがちです、と述べられました。どんなにりっぱな理念でも、大きなイベントや難しい活動だけでは支え切れないのではないかと、当たり前前のささやかな日常生活が根元をしっかりと支えているのではないかと思います。

講演では、「それでいいのだ、それがいいのだ。」と、後押しをして下さったような気がします。

温かい雰囲気の家や地域、それが非行を防ぎ、罪を犯した人の更生の支えになるとしたら、うれしい事だと思いました。そうすることによって、私たちの理解も自然に深まっていくのかも知れません。



受賞おめでとうございます

○法務大臣

感謝状 太田 美智子

○日本更生保護女性連盟

理事長表彰 小久保 照代

○近畿地方更生保護委員会

委員長感謝状 嶋崎 ひな子

○近畿更生保護女性連盟

会長表彰 安原 操代

○大津保護観察所長

感謝状 西川 絹代

感謝状 川妻 次美

役員名簿

会長/大鉢佳子

副会長/小久保照代

河原田洋子

会計/上原里子

マキノ/山本一代・伊吹康子

今津/西川絹代・小川敬子

朽木/澤田弘子・山原恵子

安曇川/安原操代・石黒紀代子

高島/小谷幸子・金田群子

新旭/川妻次美・足立菊江



編集後記

更生保護女性会では、毎年高島警察署を訪問し、日頃のお礼を述べ、研修もさせていただいています。今年は詐欺・闇バイトの話聞いてきました。詐欺被害額は年々増え、巧妙に誘い込まれて被害に遭う例が増えています。一生のうちに三つの坂があるといわれます。上り坂、下り坂そして「まさか」です。まさか私が... 簡単にお金は手に入りません。甘い言葉にだまされないよう気をつけましょう。子どもたちのいいお手本になれるような生き方をしたいものです。

編集委員